

さいたま市に大宮支店を新設

第一貨物

圏央道全通を見据えネットワーク拡充



第一貨物（武）
常務 藤幸規社長）
安達は、さいたま市の岩槻支店と東京の足立支店を統廃合して、さいたま市岩槻

区長宮に大宮支店を新設し11月29日に竣工披露した。

従来の岩槻支店の老朽化・狭隘化にともない新設したもので、新支店は従来施設の約3・6倍の敷地面積と約10倍の延床面積をもつ。東北道の岩槻ICから約4キロに位置し、14年に予定される圏央道の全面開通を見据え、埼玉県の総合物流拠点として、更なる輸送サービスの向上を目指す。開業は12月3日。

新支店の敷地面積は2万2565・62平方メートルで、延床面積は2万9737平方メートルの鉄骨造り4階建て。1階は特積みで、その一部は幹線運行効率化を目的に設立された「ジャパン・トランス・ライン」の一員である久留米運送（二又茂明社長）が埼玉店として使用する。2階は事務所とカプセルベッドを備えた仮眠室があり、3、4階は一時保管施設となっており、3階は3PL事業の顧客専用フロアになっている。倉庫の床荷重は1平方メートル当り1・5ト。4・1ト積み荷役用エレベーター（守谷輸送機工業製）5基とエアース



ドックレベラー2基を備える。プラットホームの照明には、長寿命LEDを採用、さらに928・6キロワットの太陽光発電施設を備えるなど、省エネにも考慮している。

所用で欠席の武藤社長に代わり挨拶に立った安達英雄常務は、「計画から足かけ4年近くかかりようやく完成し感無量だ。東雲の東京支店をハブに、5年位前から圏央道と国道16号線沿いに、厚木、入間と拠点を開設し、来年も1店開設して、ほぼ完成に近づいた」と述べた。尚、この大宮支店は、物流施設の企画・立案や不動産事業などを手がけるシャロンテック（福山博之社長）が開発したもので、第一貨物は土地・建物を賃借する。